

令和4年7月28日  
環境生活部自然保護課  
043-223-2956  
生物多様性センター  
043-265-3601

## 千葉市内におけるヒアリの確認について

令和4年7月27日に千葉市内の物流倉庫において発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、7月28日に特定外来生物であるヒアリと確認され、千葉市により別紙のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

当該アリは、中国蛇口（シェコウ）から、東京港を経由して、陸路にて千葉市の物流倉庫に運ばれたコンテナ内で発見された働きアリ110個体です。

なお、刺傷被害等健康上の支障は生じていません。

### 1 県の対応状況

7月27日、県生物多様性センターが物流業者から、貨物の積み下ろし時に疑わしいアリを発見したとの情報を受け、サンプルを入手。ヒアリ類の可能性が高いと判断したため、関東地方環境事務所及び千葉市に連絡しました。

同日、千葉市とともに、積み下ろした貨物の周辺に粘着トラップ及びベイト剤（殺虫エサ）の設置を行いました。

### 2 今後の対応について

引き続き、千葉市と協力して周辺のトラップによる調査等を継続するとともに、ヒアリに関連する情報や刺された場合の対処法等について、県民や関係者等へ注意喚起していきます。

### 3 その他

- (1) 本件に関する現場での取材は、地権者や関係者の方々へ影響を及ぼすおそれがあることから、厳に慎むようお願いします。
- (2) 今後とも、情報提供に努めますので、関係者が風評被害等により混乱したり、被害を受けることのないよう、ご協力をお願いします。

○今回確認されたヒアリ



写真：千葉県生物多様性センター

○今回ヒアリが発見された場所



出典：ちば情報マップ

(参考) ヒアリについて [環境省作成資料]

## 1. 生態について

- 原産地：南米
- 侵入状況：米国をはじめ、中国や台湾など環太平洋諸国に分布が急速に広がっている。日本では、現在未定着。
- 亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。土で直径2.5～6.0cm、高さ1.5～5.0cmのドーム状のアリ塚を作る。雑食性で、節足動物、小型脊椎動物、樹液、花蜜などを餌とする。

## 2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：他種のアリと競合し駆逐するおそれがある。極めて攻撃的で、節足動物のほか爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し捕食することが知られ、鳥類の営巣・雛の生育に影響を及ぼした例もある。
- (2) 農林水産業にかかわる影響：牛、馬、鶏など家畜への死傷被害
- (3) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の強い毒による痛みやかゆみ、発熱、じんましん、激しい動悸等の症状が引き起こされる。また、アレルギー性のショックを起こすことがある。